

2022年度

第15回

岐阜オレンジリボン たすきリレー報告書



オレンジリボンとミナモ

開催日 2022年11月6日(日)

岐阜オレンジリボンたすきリレー



主催

(一社)オレンジリボン岐阜ネット
岐阜オレンジリボンたすきリレー実行委員会

オレンジリボンは、
児童虐待防止の
象徴です
(岐阜オリジナル版)

STOP!子ども虐待

令和4年度「児童虐待防止推進月間」標語

「もしかして？」

ためらわないで!

189 (いちはやく)

とうじょう ここみ
東條 心海さん (静岡県)

オレンジリボン憲章

私たちは、子どもの成長と発達を支援することが
社会全体の責任であることを自覚して、
次のとおり行動します。

1 私たちは、子どものいのちと心を守ります。

2 私たちは、家族の子育てを支援します。

3 私たちは、里親と施設の子育てを支援します。

4 私たちは、地域の連帯を拡げます。

実行委員長 あいさつ

新しい組織で～コロナ禍からの～ 再スタート！

(一社) オレンジリボン岐阜ネット 会長 長 縄 良 樹
岐阜オレンジリボンたすきリレー 実行委員長



子どもの笑顔を守りたい！で始まったこの運動も 15 回の節を迎えました。

今年もコロナ禍にあっても、オレンジリボン運動に休止はない！やれることをやるとの基本姿勢は持ちつつ、5 圏域コースの独自性を尊重する事業開催となりました。各コースが、独創的なアイデアを形に作り上げ、成果を積み上げています。

お母さんの笑顔が、戻って欲しい！！

相手に笑顔が届かない。赤ちゃんにいつもマスク顔で接するママが、外した途端に泣き出されたらと、ウソのような話を聞きました。お母さんの笑顔が家庭を明るくする。

覆面社会が、当たり前。お化粧品代が安く済んで良いなんて言う女性もいますが、人付き合いがサバサバし過ぎて、子育て中の親さんの、地域社会との遮断、孤立が進んでいる。高校生活の三年間、ズーっとマスクを外さなかったため、素顔を見られたくない。恥ずかしいから。素で付き合える日は、もう来ないのか！？

学ボラに感謝 NPO法人・県・施設関係者のご協力に感謝

今回も岐阜聖徳学園大学レクリエーション研究会・岐阜大学ユネスコ学生クラブ・岐阜女子大学我輝部等々から、趣旨を理解して戴き多くのボランティアが駆けつけてくれました。勿論、NPOの仲間の支えがあったのオレンジリボン運動です。感謝します。

我々のミッションは？ 児童福祉関係者が先頭にならんと！

児童虐待防止は誰がするのか！！？？ 県が、市が、民生児童委員がするやろう？

何でその運動を私たちがやらなあかんのかと、疑問を語る淋しい仲間の居ることは、児童福祉関係者の一人として恥ずかしい。みんながやらないことをする。アホじゃないの？と笑われることをするのが、僕はミッションと捉えるのです。

明治時代の孤児院の父 石井十次もしかり。我が日本児童育成園の創立者五十嵐喜廣も、孤児を集めて生活するなんてと笑者だった。ゼロ〇から始めるのは、理解に時間が掛かる。児童養護の歴史からも子どもにとってやらなあかんことは、笑われてもやる。オレンジリボン運動には、多くの協力者・応援団の居る事は確実です。

オレンジリボン岐阜ネット一般社団法人の設立

皆様のご協力のお陰様にて、念願の一般社団法人が設立しました。理事長には40年来のレクリエーションワーカー仲間であり、信頼の友、厚い絆の渡邊丈展氏、一般社団法人・岐阜県レクリエーション協会会長にお願いし、快く引き受けて戴きました。鬼に金棒！心強い限りです。渡邊理事長のお世話で、古田肇県知事にも直接お会いする機会が与えられ、県の全面的な協力支援をお約束して戴きました。

従来の中心的な事業であった啓蒙活動（講演会・たすきリレー大会）は継続しながらも、より子育て中のお母さんに直接、働きかけるプログラム（親子ピクニック・親子海水浴・ファミリーキャンプ等）を展開し、お母さん方が元気になって、交流を深めてゆきたいと願っています。多くの学生ボランティアも、事業協力を快諾してくれています。最後になりましたが、第1回からの心強い支援団体、[公財] 資生堂子ども財団様・岐阜県児童福祉協議会様・[公財] 田口福寿会様には心から感謝をいたします。

第15回岐阜オレンジリボンたすきリレー実施要綱

1 趣旨及び目的

子ども虐待は、一援助者、一機関あるいは一専門分野のみで解決される問題ではなく、多くの機関・分野の方々の協働と、市民の方々の理解と協力が不可欠である。

そこで、日頃、様々な機関・分野で活動されている方々が、一つの目標に向かって子ども虐待防止の象徴であるオレンジリボンをたすきに仕立て、心を一つにすれば子ども虐待防止のための大きな力になることを示すとともに、各地の行政や民間団体・施設などが様々な形でキャンペーン活動を行うことで、子ども虐待防止や子育て支援への市民の関心を高めることを目的とする。

また、11月は「児童虐待防止推進月間」であり、この時期にキャンペーンを実施すると共に、各地の実情に併せて、子ども虐待防止及び子育て支援関連行事を実施することで相乗効果を呼び、一層充実した啓発活動となることをめざす。

さらに関係機関が共同して取り組むことにより、関係機関相互の連携を強化し、幅広いネットワークを形成していくことをめざす。

2 主 催

(一社) オレンジリボン岐阜ネット

[主 管] 岐阜オレンジリボンたすきリレー実行委員会

[構成団体] 岐阜県児童福祉協議会、岐阜県児童家庭支援センター連絡協議会

NPO法人グッドライフ・サポートセンター、NPO法人可児市NPO協会、

NPO法人みいーんなげんき、NPO法人キッズスクエア瑞穂、その他各種団体

3 協賛団体（順不同）

(公財) 資生堂子ども財団、(公財) 田口福寿会、
岐阜加納ロータリークラブ、アサヒ飲料販売(株)、
(株)岐阜文芸社、明治安田生命保険相互会社岐阜
支社、(有)岐雪乳販

4 協力団体（順不同）

岐阜県（子ども家庭課、各子ども相談センター）、
FC岐阜、いじめ撲滅・元気創造 その他

5 後 援（順不同）

厚生労働省、岐阜県、全国児童家庭支援センター協議会、岐阜県助産師会、岐阜新聞社・岐阜放送、岐阜県警察、岐阜県社会福祉協議会、(一社)岐阜県レクリエーション協会、岐阜県小児科医会、岐阜県里親連合会、岐阜県人権擁護委員連合会、(公財)岐阜観光コンベンション協会、岐阜城ライオンズクラブ、岐阜長良川ライオンズクラブ、国際ソロプチミスト岐阜、国際ソロプチミスト岐阜一長良、中部学院大学、中部学院大学短期大学部、岐阜聖徳学園大学、岐阜聖徳学園大学短期大学部、岐阜市、大垣市、多治見市、関市、美濃加茂市、可児市、瑞穂市、大野町、北方町、本巣市、山県市、各務原市、羽島市、笠松町、岐南町、郡上市、高山市、飛騨市、下呂市、白川村

子ども虐待防止への宣言



幼い子どもの心と身体を育てるために、私たちにできる事はなん
でしょうか？

それは、決して特別な事ではありません。ただ傍に居て話しかけたり、一緒に歌を歌ったり、抱っこをしたり、手を繋ぐ事で、愛されている実感を身体で伝えていく事が大切な事です。

親が「この子のために」と思ってやった事でも、子どもにとって有害な行為であれば、それは全て虐待と言わざるを得ません。

子ども虐待防止のシンボルとして誕生した「オレンジリボン」には、子育てしている家族を応援し、子どもの笑顔を守り明るい社会を目指していく願いが込められています。

今年の子ども虐待防止の標語は…

「もしかして？」ためらわないで！189（いちはやく）

どうか皆さん、子ども達の言葉にならない“小さなサイン”に気づいて下さい。そして一生懸命に子育てに奔走している保護者の方々の良き理解者となって応援して下さい。

この「岐阜オレンジリボンキャンペーン」の大きな願いが市民の皆様のご理解と温かなご支援を頂きながら、さらに大きな輪となりパワーとなって、社会全体に広がっていく事を願ってやみません。

令和4年11月6日

第15回オレンジリボンたすきリレー実行委員会



令和3年度岐阜県における児童虐待相談の状況について

岐阜県健康福祉部 子ども・女性局 子ども家庭課
児童虐待対策監 谷倉 祐二

令和3年度の岐阜県子ども相談センターにおける児童虐待相談対応件数は、2,390件（前年度2,268件 対前年度比5.4%増）で、過去最多となりました。

ここ数年でオレンジリボン岐阜ネットをはじめ関係機関による地道な啓発活動等により、県民の皆さまにも児童虐待に関する理解が浸透してきたことや、警察、学校、市町村などの関係機関と子ども相談センターとの連携が進んできたこと等により、件数が高止まりしたものと考えられます。

また、虐待相談への対応状況を分析すると、里親委託や施設入所など親子分離をせずに面接指導等により対応したケースが97.1%となっており、虐待が重篤化する前の軽微な段階で、早めに通報いただいていることが、これらの数字に表れているものと考えられます。

これらの現状と新型コロナウイルス感染防止等を勘案して、令和4年11月の児童虐待防止月間には、「清流の国ぎふオレンジリボン児童虐待防止講演会」について、昨年度に続きYouTubeを活用し、期間限定で申込者のみに公開するという手法で開催しました。

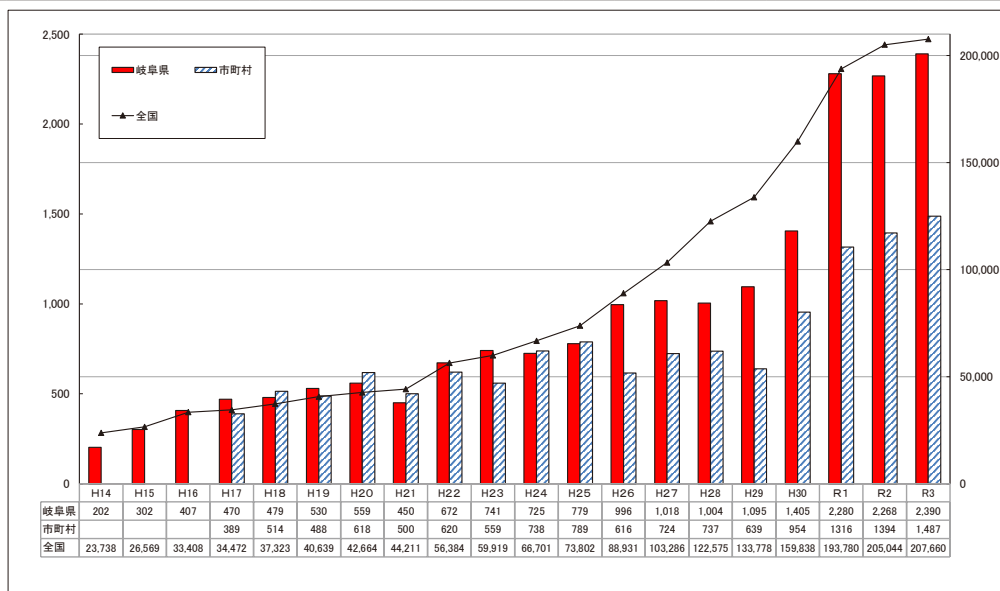
県といたしましても、児童虐待防止啓発活動が益々浸透していくように、今後とも様々な工夫を凝らした取り組みを行ってまいりたいと考えております。

児童虐待相談対応状況 (令和4年6月15日(水) 岐阜県発表資料)

- **種別** 「心理的虐待」が1,218件（全体の51.0%）と最も多く、次いで「身体的虐待」が810件（同33.9%）、3番目に「保護の怠慢・拒否（ネグレクト）」が319件（同13.3%）となっています。
- **年齢構成** 「7歳～12歳」が891件（全体の37.3%）と最も多く、次に「3歳～6歳」が599件（同25.1%）、3番目に「0～3歳未満」が395件（同16.5%）となっています。
- **主な虐待者** 「実母」が1,079件（全体の45.1%）と最も多く、次に「実父」が1,012件（同42.3%）となっています。
- **相談の経路** 「警察等」が794件（全体の33.2%）と最も多く、次いで「市町村」が407件（同17.0%）、3番目に「学校等」が379件（同15.9%）となっています。
- **一時保護** 児童虐待により一時保護を行った件数（委託一時保護含む）は、249件（対前年度比2.0%減）で、延日数は7,234日（同2.9%減）となっています。

児童虐待対応件数の推移

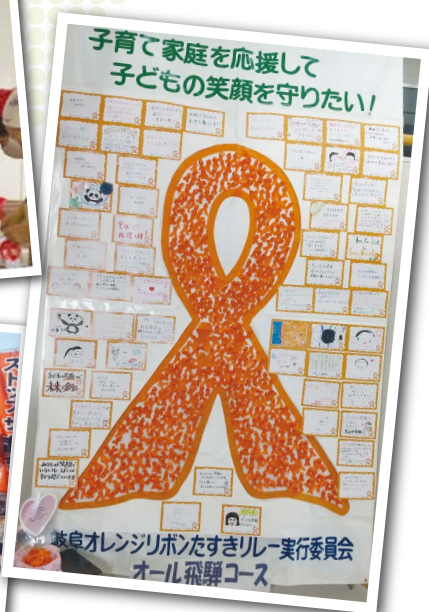
	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
岐阜県	58	102	136	226	220	202	302	407	470	479	530	559	450	672	741	725	779	996	1,018	1,004	1,095	1,405	2,280	2,268	2,390
市町村									389	514	488	618	500	620	559	738	789	616	724	737	639	954	1316	1394	1,487
全国	5,352	6,932	11,631	17,725	23,274	23,738	26,569	33,408	34,472	37,323	40,639	42,664	44,211	56,384	59,919	66,701	73,802	88,931	103,286	122,575	133,778	159,838	193,780	205,044	207,660



2022年度

オレンジリボン推進活動

<各コースの取り組み>



あなたに出来る事



まずは自分の子育てを振り返ってみてください。

子育てに悩んでいる人はひとりで抱え込まずに相談してください。

虐待で苦しんでいる子どもは、がまんしないで相談してください。

虐待と思われる事実を知ったときは通報してください。

虐待を受けた子どもたちの自立を支援する輪に協力してください。

虐待を受けた子どもたちの親代わり(里親)になってください。

木曽川コース

○ 木曽川コースの取り組み

岐阜県では児童虐待防止のキャンペーンとして、毎年ランナーが各地から岐阜市までオレンジのたすきをつないで走っています。

木曽川コースでは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3年前から子どもや自分や周りの人など、誰かを大切に思う言葉をつなぐ活動を行っています。これは、子育て世代ではない人にも子育てや児童虐待に関心を持ってもらい、多様な人が同じテーマにメッセージを寄せ持ち寄りつながることで、「笑顔のまちづくり」ひいてはそれが孤立予防になることを意識するきっかけになることを目的としています。

今年は小規模ながら各地でイベントも再開されてきたため、そこで啓発グッズを配布しながらメッセージへの呼びかけも行うことができました。

また、今年は子どもの人権とアドボカシーを考える「子どものためには、本当に子どものため？」という講演会を開催しました。参加者は主に子育て支援関係者及び関心のある人で市職員の参加も多く、ワークショップで活発な意見交換を行うことができました。

オレンジリボンたすきリレー木曽川コース感想

NPO法人まあーる 佐藤 薫

晴天に恵まれ、青空にオレンジ色の風船がよく映えるパレードでした。

ぽかぽか広場(多治見市地域子育て支援拠点)の現役利用者はもちろん、広場を卒業した、園児・小中学生とその親も参加してくれました。

今年は特に「パパも一緒にファミリーで」の参加が多かった印象です。

時節柄、仮装も大歓迎!としたのでとてもにぎやかになりました。

子育てを頑張る人、応援する人が一体となり、オレンジリボンをPRしました。





木曽川コース 実行委員名簿

渡邊絵鯉夏 (多治見市役所子ども支援課)
 奥村 佳史 (多治見市役所子ども支援課)
 河地 葉 (可児市役所子ども課)
 佐合 真美 (美濃加茂市役所子育て支援課)
 早川 貴史 (桜学館)

末武 吉紀 (白鳩学園)
 吉田 純 (ひまわりの丘第1学園)
 糸井川誠子 (NPO法人ぎふ多胎ネット)
 佐藤 薫 (NPO法人まあーる)
 山口由美子 (NPO法人可児市NPO協会)

揖斐川コース

○ 揖斐川コースの取り組み

揖斐川コースでは、昨年に引き続き「メッセージ入りマスクの配布」と「オレンジたすき子育て応援キャンペーン」で児童虐待防止の啓発を行いました。昨年もたくさんの企業や店舗の皆様、大切な取り組みだと賛同をいただいたので、今年もっと広げていこうということで継続することを決めました。

○ 取り組み① オレンジたすきで子育て応援キャンペーン

虐待防止月間である11月にいろいろな店舗でオレンジたすきをかけていただいたり、お店に飾っていただけたら、オレンジリボン運動を知ってもらえるきっかけになると、2020年度から始めた「オレンジたすきで子育て応援キャンペーン」。今年も協力企業・店舗を募集しました。

募集チラシに昨年協力いただいた皆様の写真や、裏面に昨年の協力企業・店舗114団体の名称を記載するなど、より身近な取り組みに感じてもらえるように工夫しました。

昨年協力いただいた皆様に、昨年のお礼を伝えつつ、今年も取り組むことをお伝えすると、「今年も協力するよ」と言っていただいたり、「知り合いを紹介するよ」と地元の企業や店舗を紹介いただきました。お店の方には、「オレンジたすきが、地域の方をリレーのように繋いでいますね」と言われ、この活動の継続による機運の高まりを感じました。

それと並行して、今年も無料ペーパー「minto up」の11月号に活動紹介を掲載いただけました。「minto up」には2020年度から毎年掲載いただき、おかげさまで、より多くの皆様にこの取り組みを知っていただくことができました。



▲啓発活動協力のお手紙やチラシ・マスクとともに、たすきをお渡ししました。



▲minto up 11月号の記事

○ 取り組み② メッセージ入りマスク配布活動

昨年の「折るとメッセージ入りのハート♡になるミニチラシ」を封入したマスクに、「withコロナ」というメッセージを加えて、今年も2,000枚作製しました。このマスクは、オレンジたすきの協力をお願いする時にお渡ししたり、11月の児童虐待防止推進月間に、協力いただいたお店でお客様にオレンジリボン運動をお知らせいただくツールとして渡してもらう形で活用しました。

2020年度から継続して啓発活動に協力いただける企業・店舗数は114件、今年の新規団体13件をあわせて約130件になりマスクの不足が心配でしたが、マスク1,600枚を寄付いただけたので、すべてのお店に配ることができました。



○ 11月のようす

今年のたすきは29本。昨年・一昨年と合わせると280本をこえました。

今年も2020年度から協力いただいた店舗・企業に、啓発チラシやリーフレット、メッセージ入りマスクなどをセットしてお渡ししました。

11月には、各団体でたすきをかけての活動や、チラシやリーフレットと一緒に展示、お客様にグッズやマスクを渡していただいたりして、広く市民の皆様にもオレンジリボン運動を知っていただくことができました。



▲敷島産業(株) 料理教室



▲社会福祉法人いぶき福祉会さんは、「虐待について仲間たちと学ぶ会」や、イベントでオレンジたすきをかけて活動いただきました。



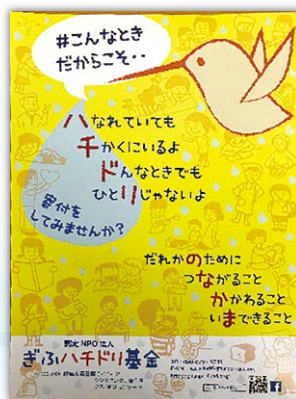
▲店内に掲示していただいているようす

○ 取り組みのまとめ

今年もたすき作製費と協力金の差額を、認定NPO法人ぎふ八チドリ基金に寄付することにしていました。今年も、42,870円を寄付することができました。

コロナ禍で、大変な思いで子育てしている家庭が増えています。虐待防止を啓発することだけでなくとどまらず、実際に子ども・若者を支援する現場にいかしていけることも、この取り組みのいい所だと考えています。

社会全体で子どもを、そして、子育て家庭を温かく支える社会になり、児童虐待がなくなることを願ってこの活動を続けていきたいと思ひます。



たすきの協力をいただいた 企業・店舗・団体・個人の方々	たすき 本数 (1本1,000円)
松野治療院	1
アイエヌオーテニスクラブ	2
岐阜聖徳学園大学附属小学校	3
瑞穂市商工会	1
社会福祉法人いぶき福祉会	2
NPO法人グッドライフサポートセンター	4
岩崎電機(株)	1
ミケネコ堂(廣瀬さん)	1
ちびっこ園ミズホ	5
ちびっこ園	5
放課後デイサービス コノミチテラス	1
インドカレー DEVI	2
敷島産業(株)	1
たすき合計	29 (29,000円)
協賛金をいただいた 企業・店舗・団体・個人の方々	協賛金
瑞穂市社会福祉協議会	1,000
(株)アベックス	2,000
スナミ歯科医院	5,000
岩崎電機(株)	9,000
木野村由美子さん	1,000
所内科医院	1,000
(株)かし繁	1,000
うずら歯科医院	1,000
(株)野村建設	1,000
(株)ファースト	1,000
(有)小松家	1,000
(株)アイテック情報システム	1,000
(株)アベックス	1,000
たなせ調剤薬局	1,000
(株)レックス	1,000
上村建設(株)	1,000
吹原於左衛門さん	1,000
森和之さん	1,000
神山英一さん	1,000
(株)森ブロック	1,000
(株)ALTHEA	1,000
協賛金合計	34,000

岐阜薄墨ロータリークラブ
16件

今年度の活動を振り返って

児童養護施設 樹心寮 鍋島 由佳

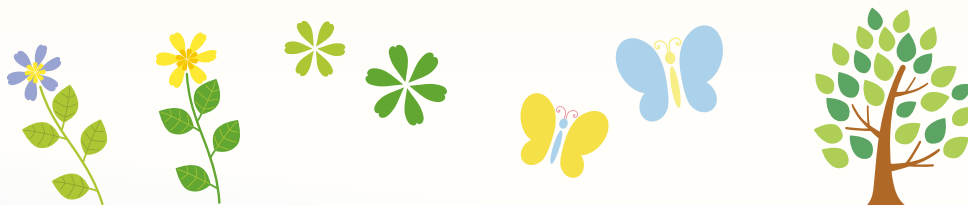
今年度は二年ぶりにオレンジリボンたすきリレーが開催され、「より多くの人に活動の主旨や活動内容を知って貰いたい!」という願いを叶えることができました。子ども虐待防止のシンボルカラーであるオレンジ色のTシャツを着て走っている姿をまた見ることができとても嬉しかったです。

揖斐川コースとしては、「オレンジたすきで子育て応援キャンペーン」を継続し、今年もたくさんの企業さんが児童虐待防止についてのお話を真剣に聞いてくださったり、お店にポスターを展示していただいたり、メッセージ入りマスクをお客様に配布してくださるなど、私たち実行委員だけではなく、企業さんからの発信もあり、地域全体で活動を盛り上げることができた一年でした。今年もご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。オレンジリボンがより地域に広がり、地域全体で子どもの笑顔が守れるよう、この活動を大切にしていきたいです。

「オレンジたすきで子育て応援キャンペーン」取り組みの感想

NPO法人キッズスクエア瑞穂 矢野 幸子

2020年「たすきリレー」ができなくて、始めた「オレンジたすきで子育て応援キャンペーン」。地域の企業や店舗79件にご協力いただきました。昨年は、協力いただいた企業や店舗から、次の参加店舗を紹介いただくこともあり「オレンジたすき」が地域の方々をつなぎ、280本まで広がりました。今年は、「たすきはあるから協賛するよ」と寄付や、「毎年報告書や11月には、リーフレットや啓発グッズを届けてくれて、一過性に終わらず、継続して活動する事、応援しているよ」と声をかけて貰いました。この言葉を励みに、今後もこの活動を続けたいと思います。



揖斐川コース 実行委員名簿

鍋島由佳 (樹心寮)
宮城かれん (樹心寮)
山田大介 (大野子ども家庭支援センター ころも)
本多さくら (大野慈童園)
佐竹佑香 (大野慈童園)
澁谷友麻 (誠心寮)

山口歩聖 (誠心寮)
築瀬瞳 (わかあゆ学園)
太田陽佑 (西濃子ども相談センター)
矢野幸子 (NPO法人 キッズスクエア瑞穂)
近藤奈保美 (NPO法人 キッズスクエア瑞穂)

長良川コース

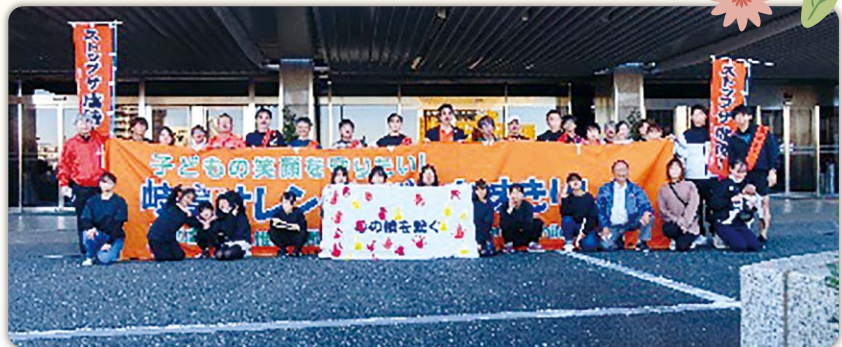
○ 長良川コースの取り組み

①横断幕作成

日本児童育成園、若松学園、美谷学園、合掌苑の子ども達に横断幕を作成してもらいました。オレンジ・赤色・黄色を使い子ども達の手形を取り、その中に将来の夢や頑張りたいことが書かれています。



② コロナ禍で行えなかった「たすきリレー」を数年ぶりに実施することができ、ランナーの方々と共に岐阜市内でたすきを繋ぎながら活動を行うことができました。また、開会式では美谷学園から鼓笛隊の方々にも参加していただき、素敵な演奏と共に、ランナーの方々を送りだしていただきました。今回たすきと共に子ども達と作成した横断幕をランナーの方につないでいただくことで、子ども達の想いも一緒に繋ぐことができました。



2022.11.6

第15回 岐阜オレンジリボンたすきリレーコース区間表

スタート

9:00 岐阜県庁

第1区間

施設職員 [6名]

松原叶佳、竹中智恵、高橋正則
吉富左京、森厚介、畠中みづき

走れ!島ちゃん [5名]

中村仁隆、島崎亮司、本庄剛久、森充広、山崎潤



9:30 加納神明公園

第2区間

走れ!島ちゃん [5名]

中村仁隆、島崎亮司
本庄剛久、森充広
山崎潤



10:05 岐阜市役所

第3区間

岐阜西ライオンズクラブ
[6名]

志知慈朗、篠田浩之、岩田直美
志知美咲、志知恵子、志知昭良

走れ!島ちゃん [4名]

中村仁隆、島崎亮司、本庄剛久、森充広

10:30 岐阜公園

第4区間

たかともSC [7名]

坪内寛子、横山みゆき、横山献吾、森田千賀
森田采、大屋知穂、大屋貴弘

走れ!島ちゃん [4名]

中村仁隆、島崎亮司、本庄剛久、森充広

10:50 長良公園

第5区間

長良小学校職員 [2名]

土屋房枝、木下裕史

日本児童育成会職員 [2名]

福永乃彩、角谷瑠月

走れ!島ちゃん [4名]

中村仁隆、島崎亮司、本庄剛久、森充広



11:15 岐阜北警察署

第6区間

ぎふりオレーナ [4名]

高石明美、山根茉唯加、加藤萌、西條華子

走れ!島ちゃん [4名]

中村仁隆、島崎亮司、本庄剛久、森充広

11:30 JA ぎふおんさい広場「鷺山店」

第7区間

加納ロータリークラブ
[7名]

野崎雅裕、臼井俊治、廣江隆晃
翠健治、熊田圭祐、呉直樹、大西純司

走れ!島ちゃん [5名]

中村仁隆、島崎亮司、本庄剛久、森充広、山崎潤



ゴール

12:05 メモリアルセンター

オレンジリボンたすきリレー 長良川コース 感想

児童養護施設 合掌苑 小池瑞樹

今年は新型コロナウイルスの影響は続いているものの、何とかたすきリレーを復活させ、実行することができました。久しぶりのたすきリレーではありましたが、たすきを繋げながら各中間地点での啓発活動を行うことができたおかげで「オレンジリボン」という存在をたくさんの方に知っていただく良い機会になったと思います。他にも、横断幕に子ども達の手形を乗せ、そこに将来の夢や頑張っていることを書き、ランナーの皆さんにたすきと一緒に繋いでいただいたり、長良川競技場でのゴールイベントでキャラバン隊を率いて大きなオレンジリボンの横断幕を見せながらトラックを一周したりと沢山の 방법으로「オレンジリボン」の存在をアピールしました。私自身、今回初めてオレンジリボンに携わらせていただきましたがとてもいい経験となりました。今後も児童虐待防止について自分自身も考え、周りの方々にも考えていってもらえるような活動にしていきたいと思っています。

児童養護施設 日本児童育成園 種藏和希

今年度、オレンジリボンに関わらせていただけた事とてもうれしく思います。コロナ禍ではありますが、長良川コースでは念願のたすきリレーを復活させ、小規模ながらも岐阜市内を走り、ランナーの方々と共にたすきを繋ぐ事が出来ました。また、今回はたすきだけではなく、児童養護施設の子ども達が作成した横断幕をたすきと共にランナーの方々に繋いでいただくことで子ども達の夢と希望も一緒に紡ぐことができました。開会式での美谷学園鼓笛隊による心温まる演奏、中間地点での啓発活動中の地域の方々の温かい言葉や笑顔、ランナーの方々を迎える際の声援など、様々な面で沢山の人の支えられているということを感じることができました。啓発活動も昨年度同様に行う中で、リーフレットやマスクの配布、また今年度はリレーを行うということもあり、長良川コース独自のパンフレットの作成や配布を行うことで沢山の人たちに知っていただく機会を作ることができたように感じます。児童養護職員として、今回のオレンジリボンを通して感じたことや得られたことを活かし、今後の励みにしていきたいと思っています。ご協力していただいた皆様、ありがとうございました。

長良川コース 実行委員名簿

中廣 勇作(中央子ども相談センター)

小池 瑞樹(合掌苑)

新川 真之(若松学園)

伊藤 弘晃(美谷学園)

島 千春(乳児院ホームまりあ)

種藏 和希(日本児童育成園)

協力していただいた団体

- 岐阜県庁
- 岐阜市役所公園整備課
- 岐阜北警察署
- 岐阜市子ども・若者総合支援センター“エールぎふ”
- 中央子ども相談センター
- 長良児童センター
- 各務原市健康福祉子ども家庭支援課
- 各務原市立中央図書館
- さくらこども館
- あさひこども館
- そはらこども館
- うめまこども館
- かわしまこども館
- 郡上市役所
- 郡上市立吉田小学校
- 郡上市立幼児教育センターみなみ園
- はちまん児童館
- 山県市立大桑小学校
- 山県市立富岡小学校
- わかかさ児童センター
- 安桜こども館
- むげがわ児童館
- 幼保連携型認定こども園カトレアこども園
- 加納ロータリークラブ
- 岐阜西ライオンズクラブ
- JAぎふ農業協同組合
- おんさい広場鷺山店
- JAぎふRioreina
- たかとみSC
- ローソン岐阜東栄町店
- 日本児童育成園の子どもたち
- 若松学園の子どもたち
- 合掌苑の子どもたち
- 美谷学園の子どもたち
- 美谷学園鼓笛隊

三川コース

○ 三川コースの取り組み

開催内容

オレンジリボンたすきゴミ拾いリレー

開催日時

2022年10月30日(日) 8:00~15:00



①活動目的・背景

子ども虐待防止を訴えるオレンジリボンたすきリレーも今年で15回目を迎え、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年に引き続き三川コースとして「オレンジリボンたすきゴミ拾いリレー」を開催しました。

②参加者(リスト参照)

参加者 106名

ボランティアスタッフ 16名



③活動内容

日時	内容
5月24日	第1回三川コース実行委員会 場所：こどもがセンター ・コロナ禍に伴う開催について
6月8日	Tシャツについて、豊田委員長と事前打ち合わせ 於：あいそら羽島
6月20日	第2回三川コース実行委員会 場所：こどもがセンター ・開催日時、参加者募集方法、岐阜長良川ライオンズクラブ寄付について
9月5日	第3回三川コース実行委員会 場所：こどもがセンター ・岐阜長良川ライオンズクラブ寄付について
9月27日	黙祷の集い竹アートについて ・関市小屋名 圓通寺 岡田ご住職へ竹アートの確認
10月5日	岐阜長良川ライオンズクラブ 定例会 場所：岐阜グランドホテル ・豊田委員長、宮崎事務局長 寄付金10万円授与
10月24日	第4回三川コース企画会議 場所：こどもがセンター ・たすきゴミ拾いリレー開催内容の最終確認 Tシャツ配布
10月30日	第15回オレンジリボンたすきゴミ拾いリレー開催 ・羽島コスモパーク~岐南町 医療法人かがやき
11月5日	黙祷の集い 開催 参加者50名
11月6日	第15回岐阜オレンジリボンゴールイベント ・三川コース代表 岐阜長良川ライオンズクラブ
12月5日	第15回オレンジリボンたすきゴミ拾いリレー反省会

○ コース区間表

スタート

8:00 コスモパーク羽島

第1区間

万灯会 [7名]

佐藤直樹、野垣 豊、林 峰文、束 翔一
三輪亮介、竹川早江子、須藤 滋

竹鼻中学校A [8名]

後藤立樹、梶川凜里、浅野日菜子、黒田興詩
牛田大夢、城内柁儀、小宮山帆々花、松井瑠乃伽

9:10 ユーロースター

第2区間

竹鼻中学校B [9名]

岡田未羽、森 大樹、竹山優奈、勝野優羽、西 啓仁
勝野琉香、小野寺滯、早川蓮愛、佐藤あゆみ

羽島市役所 [4名]

加藤正博、衣斐則子、山田京子、熊崎房子

9:50 一刻魁堂羽島店

第3区間

SingleRing [12名]

橋本悠希、橋本莉奈、西松咲希、西松幸恵、岡田結羽
岡田紗羽、土岐有香、李 亜妹、菘毛佳代子
岩崎愛斗、岩崎寿子、岩崎愛柚

はしまる [6名]

渡辺正彦、入野友善、入野 愛、入野雄太
入野湊介、入野楓椛

10:30 林製紙原料駐車場

第4区間

豊寿会・岐阜東
ロータリークラブ [13名]

豊田雅孝、豊田真喜子、瀨瀬正浩、澤村喜吉
長谷川隆志、玉木ひとみ、柴田亜佑美、光村美香
早瀬夢乃、役田仁志、杉山敏樹、梅田憲治、山下佳孝

11:30 カラフルタウン

第5区間

キラめく青柳会 [13名]

広瀬 修、加藤 剛、廣瀬元彦、久家健一
栗野佐知子、吉田明日香、青木秀益、小城 緑
堀江弘美、河内香佑、納堂太誠、相羽美来、奥村英里

12:20 イオン柳津

第6区間

岐阜西ライオンズクラブ
[7名]

志智慈朗、志智恵子、志智賞子、志智昭良、志智龍助
川辺未来、岩田直美

笠松町役場A [4名]

加藤千恵、田島 明、田上祐子、大野恵理子

13:10 笠松子ども館

第7区間

笠松町役場B [4名]

今枝貴子、花村定行、福田 恵、森祐見子

岐南町役場A [4名]

居波宏行、松原純子、谷佐和子、渡辺二志夫

13:50 笠松中央公民館

第8区間

岐南町役場B [4名]

今林加奈子、熊田紗也、加藤理恵子、小川麻衣

医療かがやき [4名]

増井法子、勝原安美、武山純奈、平田節子

ゴール

医療かがやき

④ 成 果

相変わらずゴミは多く総量25キロ、45ℓゴミ袋11袋分のゴミを回収。捨てられていたゴミの多くは煙草の吸殻や空き缶、ペットボトルなどポイ捨てが多い。今回は小さな子どもの参加や竹鼻中学校の生徒さんの参加もあり、ボランティア合わせて過去最多の122名参加となりました。徐々にオレンジリボン運動も広がり始めた証拠と感じています。また、広瀬県議や加藤さんのお力添えによる「カラフルタウン」での中継イベントは昨年に比べ内容も盛大になり「カラフルタウン」の年間イベントと言えるくらいになったと思います。日頃伝えることが出来なかった児童虐待防止のアピールも多くの方にできたと思います。

⑤ 所 感

今年は、岐阜長良川ライオンズクラブさんの結成55周年の記念事業として、オレンジリボンたすきりレー三川コースへ協力金として10万円を寄付していただきました。ご寄付いただいた10万円は、参加記念Tシャツの購入に使わせていただきました。

たすきゴミ拾いりレーについては、参加の竹鼻中学校の生徒達はコース沿いの参道に散乱するゴミの種類や量の多さに驚いていました。普段あまり目を向けないので気がつかないという人がほとんどでしたが、この活動を通して、身近なところで環境が破壊されていることに気づいてくれたようです。今回、小さなお子さんの参加がありました。3歳児以下の参加の可否も含め、コースの見直し等の検討が必要と考えます。また、一般参加については、募集方法等も含め検討していく必要があると感じています。また、オレンジリボン企画委員会のあり方について、今後検討したいと思います。



オレンジリボンたすきりレー三川コース感想

私は、竹鼻中学校のボランティアチームリーダーとして参加しました。歩道のごみ拾いをしたことで、私達が普段生活している場所でも、たくさんのごみが落ちていて、長い間放置されていることが分かりました。だから、これからは、私達の身近な場所の環境を少しでも良くすることをやりたいです。

「オレンジリボン」は子ども虐待防止啓発のための活動なので、この機会からオレンジリボン運動の他の取組を知って、周りの人に広めるようにしたいです。オレンジリボン運動を一人でも多くの人が参加して、虐待防止の考えが広がることで、虐待を防ぐための機関を知る人が増え、虐待の件数が減少するようになってほしいです。本当に必要な人に情報が届くように、私は私のできることを活用してオレンジリボン運動に参加していきたいです。

ボランティアスタッフ(敬称略)

NPO法人SHL(2名) 前村 涼、縄田美希
(株)中広 はしまる(1名) 渡邊正彦
こどもがセンター(4名)
浅野優、加藤大和、今井巧治、宮崎孝司

カラフルタウン岐阜中継地点イベント協力・支援団体

カラフルタウン岐阜、トヨタホーム岐阜、一般社団法人ブルーエッグ(栗本孝平)、フリーアナウンサー(片桐奈央子)、聖徳学園大学よさこいサークル柳(16名)、岐阜県立羽島高校吹奏楽部、小学生ダンスチーム(Ruesy dance school)

オール飛驒コース

○ オール飛驒コースの取り組み

本年度のオール飛驒コースでは、「広く地域の方たちに『オレンジリボン運動』のことを知っていただく。」ということで、下記の4つのことに取り組みました。

①街頭啓発活動

各市役所、警察署、飛驒子ども相談センターと連携して、飛驒市、下呂市、高山市の国道41号線沿いで街頭啓発活動を行いました。実行委員会よりお借りした横断幕とのぼり旗を設置し、通行する人や自動車に手を振ってアピールしました。警察署からは制服を着た警察官も来ていただき、市民の皆さんの注目度もアップしました。



▲高山市内国道41号線沿いで街頭啓発活動

②オレンジリボン・キャンペーン／高山市児童虐待防止・子育て親育ち講演会の開催

オレンジリボン岐阜ネットと高山市との共催で、児童虐待防止の講演会を開催しました。講師に島田妙子さんをお招きし、午前は支援者向けに「虐待防止に向けて、いま私たちにできること」というテーマで、午後は一般市民向けに「大人が元気で子どもも元気 ～イライラするよりイキイキ～」というテーマでお話ししていただきました。自身が家族から受けた壮絶な虐待体験を交えながら、虐待防止に向けてできること。やらなければならないことを話していただきました。聞いている人の中には涙を流していらっしゃる方もいて、大変感動的で示唆に富む講演会となりました。



▲一般向け講演会のチラシ



▲支援者を対象にした島田さんの感動的な講演



▲講演会参加者にメッセージを書きいただきました。

③啓発物品の配布とメッセージ募集

各種講演会や研修会において、児童虐待防止について話をさせていただくとともに啓発物品を配布しました。また、会場にカードを準備し、子育てで頑張っていることや子育てへの応援などのメッセージを書いていただきました。その他、保育園、幼稚園の先生など子どもに関わる方に広くメッセージを募集しました。

④大型タペストリーの展示

メッセージを大型タペストリーに貼り、高山市役所、飛驒市ハートピア古川、下呂市星雲会館、白川村役場に展示しました。また、タペストリーを覗いていただいた方にもメッセージを書いて貼ってもらえるようにしました。さらに、タペストリーの中央にある大きなリボンの中にフェルトでできたりぼんを貼っていただき、オレンジリボンを完成させることができました。

ご協力いただいたたくさんの方々へ感謝申し上げます。ありがとうございました。



▲里親啓発講演会において、リボンとメッセージカードの協力をお願いしました。



▲更生保護女性連盟の研修会において、オレンジリボン活動の話をしていただきました。

オール飛騨コースの取り組みを終えて

児童養護施設夕陽ヶ丘 中沢 泰

飛騨地方からの活動参加再開2年目…。地道ながらも活動を継続することを目標として今年も取り組みをしました。昨年度は、この地域の子育て支援関係者から子育てパパ、ママへの応援メッセージを募りましたが、今年度は子育て家庭の当事者を中心として「よく頑張ってるよね」、「今のままでいいんだよ。」など自己肯定感アップにつながるメッセージが集まりました。

街頭啓発活動を継続し、各種講演会等に参加くださった方々にはオレンジリボンが生まれた経緯や目的をお話しさせていただくことができました。広く一般市民の方への周知と理解が少しずつですが前進したのではないかと考えています。

継続は力なり…。来年度も飛騨らしい活動を展開していく事と同時に、この活動に実行委員として参画して下さる機関、人の幅も広げていけたらと考えています。

○ オール飛騨コース 活動の流れ

会議・活動	開催日時	開催場所	内 容
第1回実行委員会	7月21日	飛騨子相	実施内容の検討
第2回実行委員会	8月17日	飛騨子相	実施内容の検討
啓発活動	8月21日	市古川町総合会館	飛騨市福祉・ボランティアフェスティバル 新型コロナ感染拡大により中止
啓発活動	10月13日	やまゆり福祉会館	高山地区少年警察ボランティア協議会にて啓発活動
啓発活動	10月15日	世界生活文化センター	里親啓発講演会にて啓発活動/啓発物品配布とメッセージカード募集
啓発活動	10月18日	高山市文化会館	岐阜県更生保護女性連盟ブロック研修会にて啓発活動
第3回実行委員会	10月31日	飛騨子相	岐阜オレンジリボン啓発イベントへの参加について
街頭啓発活動	11月4日	高山市	総合庁舎下交差点にて街頭啓発活動
岐阜オレンジリボン啓発イベント	11月6日	長良川競技場	さるぼぼの着ぐるみ運搬/ハーフタイムキャラバン参加
街頭啓発活動	11月7日	飛騨市	アルプ飛騨交差点にて街頭啓発活動
街頭啓発活動	11月9日	下呂市	花池南交差点にて街頭啓発活動
啓発活動	11月13日	高山市役所	児童虐待防止講演会開催/啓発物品配布とメッセージカード募集
啓発活動	11月13日	下呂交流会館アクティブ	新型コロナワクチン接種会場にて啓発物品配布
高山市展示	11月14日～	高山市役所	エントランスにタペストリー展示
啓発活動	11月20日	萩原中央公民館(星雲会館)	新型コロナワクチン接種会場にて啓発物品配布
飛騨市展示	11月21日～	飛騨市ハートピア古川	ロビーにタペストリー展示
下呂市展示	11月28日～	下呂市星雲会館	ロビーにタペストリー展示
啓発活動	12月3日	金山市民会館 小坂ふれあいセンター	新型コロナワクチン接種会場にて啓発物品配布
白川村展示	12月5日～	白川村役場	入り口正面にタペストリー展示
飛騨子相展示	12月12日～	飛騨子相	内階段にタペストリー展示

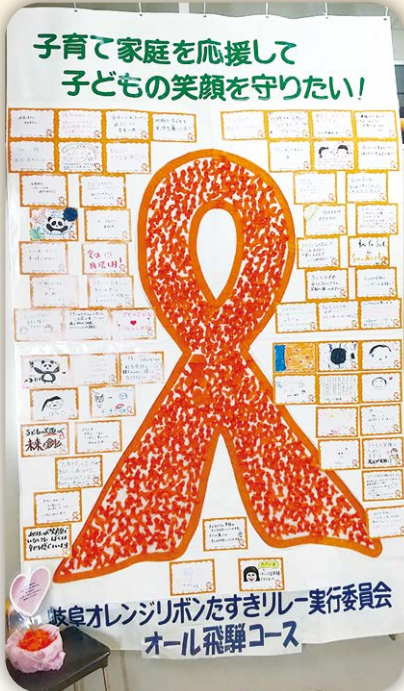
オール飛騨コース 実行委員名簿

中沢 泰 (児童養護施設 夕陽ヶ丘)	熊崎 幸生 (飛騨子ども相談センター)
田谷 孝幸 (ひだ子ども家庭支援センター ばすてる)	青木 和美 (飛騨子ども相談センター)
	中島 一英 (飛騨子ども相談センター)

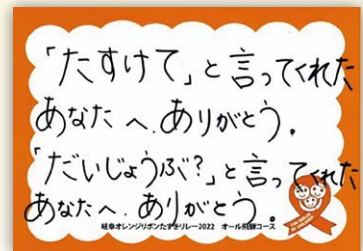
○ 大型タペストリーの展示



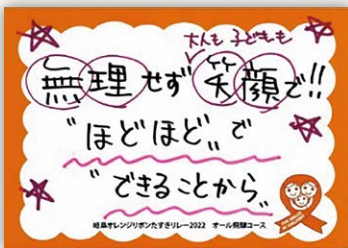
▲白川村役場ロビーに展示



▲3市1村を回って完成したオレンジリボン



▲高山市役所ロビーに展示



▲下呂市星雲会館に展示

